

## 専任技術者による客観的な診断や管理で、 お客様の製品/サービスのセキュリティ品質向上の ご支援をいたします。

### OSS管理ソリューション (技術支援/Black Duck)

サービス/ツール

新たにOSSを利用した開発を行うお客様へ、OSS運用のご支援をいたします。

Black Duckは、オープンソースリスク管理機能と詳細な検査が実施できるツールです。ベリサーブはBlack Duckの代理店としてツール販売も行っていますが、専任技術者による支援サービスも提供しています。

#### 特徴

- 1.利用OSSとその脆弱性を即時確認、対応による手戻り防止が可能
- 2.対象ソースコード数に応じて、①フルサポート、②ツール導入+技術移管など、最適な導入提案が可能
- 3.ベリサーブでは、年間230プロジェクトのOSSライセンス検査を実施。幅広い業種で実績があり、特に組込系、Web系、エンタープライズ系システムの検査実績が豊富
- 4.技術支援として、検査を効率化させるSDKアプリケーションの自社開発や、APIを利用した自動化などを提供

### Webアプリケーション脆弱性診断サービス

サービス

DX製品やIoT等、常につながる製品は顧客情報の流出や不正利用を防ぐためにも、脆弱性診断が不可欠です。

Webアプリケーションに対して、多角的な診断や疑似攻撃を実施し、Webアプリケーションに内在する脆弱性を検出するサービスです。

#### 特徴

- 1.個人情報や機密情報の有無により、最適なプランをご提供できるよう専任技術者がアドバイス
- 2.OWASP Top10や「安全なWebサイトの作り方」を基準とし客観的な視点から診断を実施
- 3.診断結果を基に、セキュリティ対策のご支援が可能

お問い合わせは  
ソリューション営業部  
本社 東京都千代田区神田三崎町3-1-16 神保町北東急ビル9階  
Mail: sol\_pd@veriserve.co.jp

加速しよう、未来を。  
VERISERVE  
www.veriserve.co.jp



SEC2309\_003J

IoTの拡大、ADASの開発促進、DXへの取り組みなどを通してビジネスは新たな局面に。急速に変化するビジネス環境・規格への対応はセキュリティレベルの向上が必要です。

## セキュリティは新たなステージへ。

ベリサーブでは、IoTの拡大、ADASの開発促進、DXへの取り組みで  
事業拡大を狙うさまざまなお客様へセキュリティサービスを展開しています。

### ISO21434

(車両のサイバーセキュリティ対策に関する規格)

ADAS(高度運転支援)開発が進み、車載Ethernet対応が普及し車載通信の定義が変わりつつあります。また、ECUも増加傾向にあり、外部との通信機能を持つ製品が増えています。そのため、サイバーセキュリティ対策が重要視され、その規格であるISO21434が誕生しました。ISO21434は、企画から廃棄まで全てのライフサイクルで対策を講じることが明記されています。つまり、サイバーセキュリティに対する組織構築、各フェーズでのセキュリティ対策を講じる必要が生じます。すでに欧州では、準拠していないクルマへの販売規制が検討されており、日本国内においても自動車メーカーやサプライヤーは対応を急ぐ必要があります。

### PSIRT

(Product Security Incident Response Team)

自社製品および販売する製品のセキュリティインシデントに対応する組織やチーム・機能がPSIRTです。内外のステークホルダーを明確にし、連携や共有が行える組織の構築を行います。また、製品/サービスに含まれる脆弱性を発見・対応することが必要とされています。これらの対応は、企画・設計・実装・販売・廃棄に至るまでのフェーズで実施しなければなりません。PSIRTの必要性が高まっている背景として、市場・顧客環境でインシデントが発生することが挙げられます。特に、外部との通信を行う製品が増加する昨今、脆弱性への対応は急務です。

### OSS

(Open Source Software)

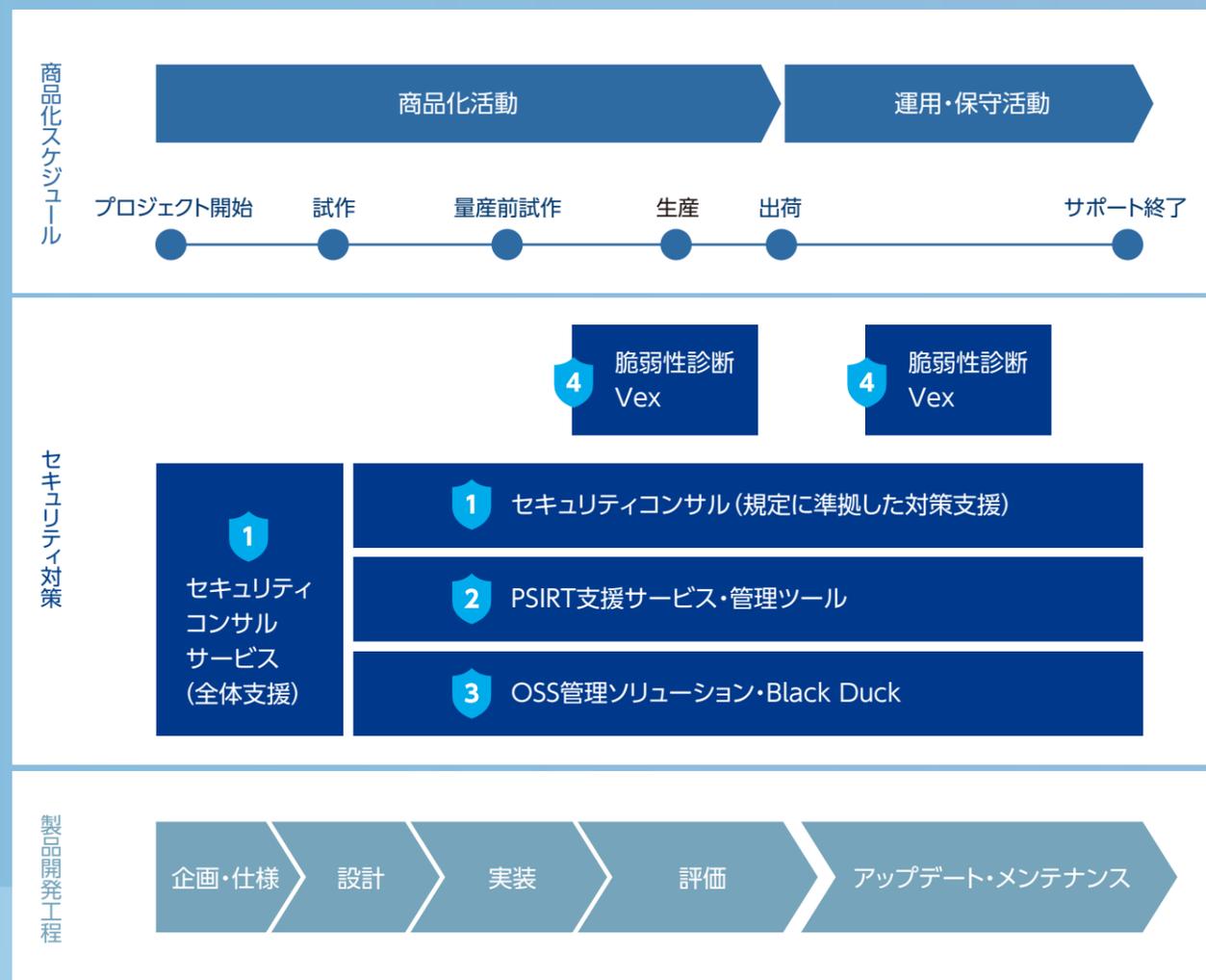
製品開発の短期化・コスト圧縮の手段としてOSSの利用拡大は増加傾向です。また、AUTOSAR(Automotive Open System Architecture)への対応により自社コード主体開発の転換期を迎える自動車業界では、今後はOSSの利用拡大が想定されます。OSSは利用・改良や再配布が認められていますが、GPLのように再配布する製造物もGPLとして公開を求められるライセンスもあります。また思わぬ脆弱性が混入している場合もあるため、OSSのライセンス管理と脆弱性対応を行う必要があります。対策の一つとしてOSS管理ツールやアウトソーシングによる管理も有効です。

### DX

(Digital Transformation)

DXの概念は、企業がデータやデジタル技術を活用し、組織やビジネスモデルを変革し続け、価値提供の方法を抜本的に変えることです。GAFAに代表されるように、DX化はあらゆる産業で取り入れられサービス化されるようになりました。5Gの普及やAIの活用の増加により、今後さらに多くの場面でDX化したサービスが使用されることでしょう。あらゆるデータにつながり利便性が高まる一方、セキュリティリスクの高まりも懸念されています。

□ 製品開発サイクルとそれに伴うセキュリティ対策の事例



- Point 1** セキュリティコンサルの立上げから、規程に準拠した実作業の計画運用支援で、脆弱性の作り込みを防止  
セキュアな製品/サービス開発をスタート
- Point 2** 製品/サービスリリース後、市場でインシデントが発生すると一大事  
セキュリティ対策組織、脆弱性の管理を行ってリスク回避
- Point 3** OSSは適切に利用する  
製品全体でライセンス準拠や脆弱性情報を一元管理
- Point 4** 新しい脆弱性は日々誕生している  
リリースごとや期間ごと等、定期的な診断で脆弱性リスクを低減

ベリサーブサービスのご紹介をいたします▶▶▶

# 製品・サービス開発の上流工程から、 高品質なセキュリティ環境を構築する ご支援をいたします。

## セキュリティコンサルサービス サービス

規格準拠の運用管理にお困りのお客様へ、ドキュメント作成のご支援をいたします。

お客様の製品やサービスの品質向上を目的に、ベリサーブが培ってきたセキュリティ検証に関わるノウハウとソリューションを活用し、プロジェクトの最上流から運用フェーズまで、一貫したご支援をいたします。

### 特徴

- 1.要件定義策定や脅威分析を専任技術者が行う事で、お客様の製品/サービスの課題を分析、必要な診断サービスのご提案と実施
- 2.貴社規程やガイドラインに沿った体制の構築や計画を作成、それらの運用までトータルにご支援が可能

## PSIRT支援サービス&管理システム サービス/ツール

セキュリティ対策チームの構築運用にお悩みのお客様へ、  
ベリサーブが運用面のご支援をいたします。

製品/サービスにおける脆弱性やセキュリティインシデント、構成管理情報の一元管理を行うPSIRTの体制構築および運用ご支援を行っています。それらを構築運用するための管理システムも提供しています。

### 特徴

- 1.お客様の現行業務や課題を分析、適用範囲や必要な機能の整理を行い構築フェーズの計画を策定
- 2.ISO等の規格に適したプロセスや組織構築運用のご提案も可能
- 3.管理システムを用いた一元管理、発生したインシデントの原因、検知された脆弱性をお客様に代わって分析、継続的なセキュリティ対策の最適化をご支援